

研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp

研修講座 特別支援教育

「支援の必要な子どもを包む学級づくり～崩れた学級からの立て直し～」

【講師】 桃山学院教育大学教授 松久 眞実先生

8月26日（金）、桃山学院教育大学教授の松久 眞実先生をお迎えし、研修講座「特別支援教育」を実施しました。講座では、先生ご自身の経験や具体的な実践事例を交えながら、「通常学級における集団指導」と「崩れた学級からの立て直し」についてご指導いただきました。

通常学級における集団指導のポイントとして以下の4点が大切であることを学びました。

（集団指導でのポイント）

- ①興奮させないために刺激を減らす。
- ②中間層の子どもたちを認めて味方にする。
- ③授業中、荒れた子どもたちが取り組める課題を増やす。
- ④感情的にならず挑発に乗らない。



また、「崩れた学級からの立て直し」には、上記のポイントに立ち戻って、静寂の時間を増やすこと、叱る基準を明確にすること、マイナスな言葉をプラスの言葉に変える取組などを行っていく必要があることを改めて確認することができました。



崩れた学級を立て直すために2学期からできる取組の一つとして、スモールステップで全員ができるようなめあてを設定し、できたことをその都度誉めることで、クラスを心地良い雰囲気にならせていく方法を教えていただきました。本講座で学んだことを各校・園で還流していただくとともに2学期からの実践に活かしていただきたいと思います。

アンケートより【一部抜粋】

- ・「気持ちをそらせる」「違うステージにのせる」「中間層を味方につける」ということが有効な方法であることを学びました。また、静寂の時間を作ることを日頃から意識しているように思っても、目の前の行動を見て、大声が出てしまう時があったなあという日頃の取組を見直す機会となりました。(小)
- ・自分に合った形で取り入れたいと思える事例が盛りだくさんで大変勉強になりました。特にスモールステップの話が印象的でした。目標までのステップを小刻みに設定すること、生徒をその都度誉めること、誰もが取り組めるような課題を設定すること、分量調整が大切であることなどクラスの実態に応じて取り入れたいと思いました。(中)
- ・クラスを作っていくために大切なことを学ぶことができました。今日の話から何をすることが生徒にしっかり伝わること、みんなができるようなスモールステップの目標を立てること、叱る時の基準を明確にすることで学級での秩序を作っていくことができると思いました。2学期から静寂の時間を意識して、落ち着いて授業ができるようにしていきたいです。(他市町)